

## 平成 22 年度 都市システム工学科 教員・学生懇談会 議 事 録

1. 実施日時： 平成 22 年 12 月 22 日 (水) 16:00-17:10
2. 会 場： S2 棟 3F 会議室
3. 参 加 者： 教員 5 名, 学生 12 名 (内:大学院 5 名, 学部 2 年-4 年 : 7 名, 別紙資料に参加者名簿添付)

16:00 に, 参加者一同, S2 棟会議室に集合した後に, 沼尾学科長より会議の主旨説明があった. 日常の学校生活で不満や疑問に思う事を自由に挙げてもらうよう伝えた. その後, 参加者の自己紹介を行い, 挙手の上, 順不同, 自由に発言をしてもらった. 以下, 発言内容を列挙する.

- 1) 掃除に参加していない一部グループがある. 個別のグループ間のみで通用するローカルな理屈を振り回されても困る. 皆が使う所なので作業には参加してほしい.
- 2) 時間外使用について, 他学科とのセキュリティレベルやスケジュール管理方法との差があまりにも大きい. 自由に研究室を使わせてほしい.
- 3) 授業のコマ数と課題数の関係に疑問がある. 具体的には, 多くの課題があるものの, 成績へどのように反映されているのかが見えない.
- 4) TA の対応(鍵)が悪い授業がある.
- 5) 編入生の立場から言うと, 成績評価など, 入学時のケアをもっとしてもらいたい.
- 6) 生協の営業時間が短く, 食べはぐれる場合もある. もっと長い営業をお願いしたい.
- 7) 高専の単位認定に関して, 履修する必要がある科目と他の必修科目が重なるなど, 履修環境で改善してもらいたい面がある.
- 8) 実験の選択について(波と風波の選択など) 課題がある. 両方選択できるなどの工夫はできないか? また, 前期と後期の実験で, 実験項目の数に差があるため, レポート量の面でバランスを考えてほしい.
- 9) 1 年生と 2 年生で科目量のバランスは取れないか? 1 年生の時間には余裕があり, 逆に 2 年生には余裕がない.
- 10) 水質の実験や分野がもっと見えるようにしてほしい.
- 11) TA の立場から見ると, 一生懸命に実験授業に取り組んでいる学部生と, 人任せな学生に分かれており, 真剣な履修を希望したい.
- 12) 研究グループ間の交流の場があれば良い. 研究内容の相互理解が求められる.
- 13) 具体的な研究内容を学部生のうちに知ることができると, 日常の学習時のモチベーションが上がる.
- 14) 測量士補の資格取得に関する案内が不足している. 高専では卒業時に手続き資料を全員に配布している.
- 15) 生協以外にも食べられる場所がほしい.
- 16) 図書館の開館時間が短い.
- 17) キャンパス西側の仮設入口を, 自転車が入れよう, 広くしてほしい.
- 18) 車の入講許可書の審査をもっと楽にしてもらえないか? 駐車場の整備もしてほしい.
- 19) 研究室のスペースをもっと弾力的に調整できないか?
- 20) 仮配属は, 本配属に繋がる配属であってほしい. 仮配属で何かをやるグループとそうでないグループが分かれている.

(以 上)